

BIG BEN

「びっぐべん」は年4回発行です

- p1 ミニ夏祭り開催
ハマースミス公園日本庭園にて
- p2 領事便り：グリーンパークの息吹き
- p3 エッセー：日英のはざままで 第3回
- p3 活動報告：グリーンコーラス
- p4 日本クラブのイベント報告
- p4 目指せ、ヤングマスター！：
日本人学校写生大会の作品から
- p5 同好会案内／お知らせ

※タイトルをクリックすると、各ページが開きます。

ハマースミス公園

日本庭園でミニ夏祭りが開催

8月7日、ロンドンのシェパーズ・ブッシュにあるハマースミス公園内の日本庭園で、「日本庭園コミュニティ・デイ」として、ミニ夏祭りが開催された。好天に恵まれ、多くの家族連れが、和太鼓の演奏や日本文化の体験アクティビティを楽しんだ。

会場となったハマースミス公園内の日本庭園は、1910年に日英博覧会が開催された際に造園された英国最古の公共日本庭園だ。博覧会后、長年にわたり放置されていたが、2010年に修復され現在の姿に生まれかわった。

今回のミニ夏祭りは、ジャパソサエティと日本大使館の共催によるもの。日本クラブからも、10人の会員がボランティアとして参加した。

当日は、折り紙や書道、新聞紙の凧作りなど、日本文化を体験できるアクティビティ・テントが設置されたほか、生け花や風呂敷を使ったラッピング、けん玉のデモンストレーションも行われた。折り紙と書道は特に人気が高く、毛筆で自分の名前を書く人あり、また自分自身は筆を握らなくても、書いている人の様子を興味深くのぞき込む人あり、常にほぼ満席状態で、日本文化への関心の高さが垣間見られた。和菓子や飲み物の屋台も、長蛇の列ができる人気ぶりであった。

3歳と5歳のふたりの姪を連れて来場したという香港出身の50代の女性は「告知サイトにピクニックを勧める一文があったので、シートと食べ物を持参で訪れました。こんな日本庭園があったことを今回初めて知りまし



次々と参加者が輪に加わり、大いに盛り上がった盆踊り。

た。子どもたちは折り紙に夢中で、私は風呂敷のデモンストレーションが面白かった」と話す。

パーカショニスト廣田丈自氏が率いる Thames Daiko のパフォーマンスは2回行われ、集まった人々は迫力のある和太鼓の響きに酔いしれた。2度目のパフォーマンスの終わりには、太鼓を囲んで浴衣姿の数人の女性たちが盆踊りを披露。飛び入りでひとり、またひとりと来場者が輪に加わり、見よう見まねで手をたたいたり腕を広げたり、初めての人も大勢参加し、最後には大きな盆踊りの輪となった。

この日本庭園では、毎年秋に日本庭園友の会の主催で、清掃作業が行われる。日本クラブでも、毎回会員からボランティアを募り、竹や生垣の剪定や池の藻の除去などの作業にあたっている。ローカルコミュニティからの参加者と共に汗を流すこのイベントは、和やかな日英交流の場にもなっている。今年の開催は、10月9日に予定されているので、興味のある人は、ぜひ参加してみたいかだろうか。



領事便り

グリーンパークの息吹き



在英國日本国大使館 領事 園部 健治

在留邦人の皆様から要望のある領事手続きの電子化に向けた取り組みをご紹介します。
また、出国前陰性証明書保持の見直しについてお知らせいたします。

1 領事手続きの電子化に向けて

日本では、デジタル庁（昨年9月発足）がデジタル社会実現に向けた各種取り組みを推進する中、行政全体で行政手続きのデジタル化に向けて取り組んでいます。

一方、英国においては、新型コロナウイルス感染症蔓延以前から、オンラインによる各種手続き、キャッシュレスによる支払いが日常的となっており、在留邦人の皆様からは、大使館での各種領事手続きの電子化、領事手数料の非現金化を求める声が多数寄せられています。



現在、大使館での領事手続きは基本的には書面により行われ、領事手数料の支払いは現金のみとなっていますが、外務省

では、在留邦人の皆様の声に応え、皆様の利便性向上が図られるよう、旅券・各種証明の申請、及びそれに付随する手数料納付の電子化実現に向けた取り組みを進めています。

しかしながら、これまで書面で行っていた申請手続き、現金による手数料納付の電子化のためには、申請から発給、交付、手数料納付に至る一連のプロセス全体の見直しとあわせ、関係する法律の改正が必要となります。

また、制度自体の設計はもとより、関係するシステムとの連携、情報セキュリティの確保等克服しなければならない課題は少なくありませんが、在留邦人の皆様の利便性向上を実現するために検討を重ねてきており、今年度末までには、皆様にご利用頂ける新制度の導入を目指して準備を進めているところです。

具体的な導入時期、制度の概要につきましては、現在、外務本省で準備を進めていることから、改めてお知らせすることになりますが、ひとたび導入した新制度は、導入後もより良い制度とするため改善して行く必要が生じます。在留邦人の皆様には、引き続きご理

解とご協力をお願いすることになりますが、よろしくお願いたします。

2 出国前陰性証明書保持の見直し

日本時間9月7日午前0時以降に日本に到着する方で、有効なワクチン接種証明書（3回目）がある場合、出国前72時間以内の陰性証明書が不要となりました。



なお、有効なワクチン接種証明書を保持していない18歳未満のお子様については、有効な接種証明書を保持する保護者の方が同伴し、お子様の行動管理を行っている場合は、特例的に陰性証明書を保持する者として取り扱われ、同証明書の免除が認められます。

一方、有効なワクチン接種証明書（3回目）をお持ちでない場合は、出国前72時間以内の陰性証明書の提出が引き続き必要となります。但し、要件を満たす検査証明書⁽¹⁾が提示できない場合は、航空機への搭乗が拒否されますので、十分にご注意ください。

また、日本への入国・帰国前にWEB上で検疫手続きを行うことができる「ファストトラック（任意）⁽²⁾」を利用することで、入国・帰国時の手続きを簡略化できますので、ご利用ください。

日本入国時の水際対策に関するお問い合わせ先

○厚生労働省ホットライン

(年中無休/日本時間9:00 ~ 21:00)

+81 (0)3 1751 2158 +81 (0)3 1741 8556

園部 健治 (そのべ けんじ)

2022年3月着任。20年ぶり2度目の英国勤務。福島県出身。サンドイッチ、印カレーが好物でクリケット観戦が至福の時間。いずれも満喫できるロンドン勤務に感謝。

¹ 出国前検査証明書 (厚生労働省HP) www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00248.html

² ファストトラック (厚生労働省HP) www.hco.mhlw.go.jp/fasttrack/

英国のサービス

大抵の日本人は英国に来ると、サービスの悪さに驚かされる。デリバリーは時間通りに来ないし、郵便局や銀行、役所には長い行列が出来ているのに、担当者は一向に急ぐ気配はない。しかも5つある窓口は2つしか開いていない。もう少しお客さんの身になって対応できないものかと思いにさえ思う。家の修繕を頼んでも、大工さんはあてにならないし、工事の後は散らかしっぱなしということも多い。

日本的なサービスに比べて英国のサービスの悪さを目のあたりにすると、英国人はお客を大事にしないとか、威張っているという感想を持つことになるのかも知れない。私は英国に住んで50年余りになり、サービスの悪さには慣れっこになってしまっているが、それでも注文した品物が配達日に届かなかったり、スーパーのレジで長い行列が出来ているのに、レジ係がお客さんとのんびり話をしている光景に出くわしたりするといらいらする。まだ日本人を引きずっているのかも知れない。

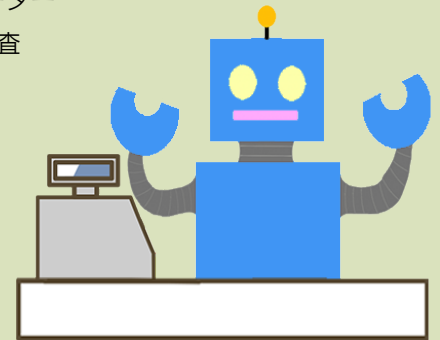
逆に日本へ帰ったときにはサービスの良さに驚かされる。宅急便は時間通りに配達されるし、スーパーやコンビニの店員は非常に効率良く働いている。しかし、ちょっと待てよ！あまりにも効率を重視するため、あらゆることが組織化され、流れ作業的になっていないだろうか。例えばスーパーのレジでは、先ずレジ袋がいるかどうかのカードを選び、支払いは別の場所にある機械で行うようになっている。レジ係とは口も利かずにあつという間に買い物は済む。

姉の生存中によく病院に連れていったことがある。日本の病院は検査、検査で、その結果が出たところで医者に会うのだが、驚いたことに医者は患者とほとんど会話を

せず、コンピューターのスクリーンで検査の結果を見て、薬を処方して終わりということが多かった。スーパーのレジ係にも病院の医者にも人間性を感じなかった。

ロボットで十分であるような気がした。そして客側や患者側もそれに合わせてロボットでなくてはならないような気になってしまった。

日本はサービス競争が過激で、これでもかこれでもかというサービスとなる。便利さを追求し、細かいことに神経を使い、すべてがマニュアルで動くようになっている。それとともにお客もマニュアル的になることを要求される。役所から病院、ビジネス、商店、レストラン等、すべての分野でマニュアル化が進んでおり、人間性が入り込む余地がない。英国のスーパーでレジ係がお客と世間話をし、後ろに並んでいる人がその会話に加わって冗談を言う。なんて人間的で素晴らしいことだろう。



加藤 節雄 (かとう せつお)

ジャーナリスト。東京生まれ。35年間続けた「びつぐべん」の編集を昨年で引退し、現在はデボンとロンドンで執筆活動を続けている。英国に関する著書多数。多くの日英交流活動を手掛け、日本の外務大臣表彰、英国のMBE勲章などを受章している。

活動報告：グリーンコーラス



日本クラブ女声合唱団グリーンコーラスは、3年ぶりの定期演奏会を6月末に開催いたしました。アカペラの「野ばら」をはじめ、日本各地の民謡や日本の現代合唱組曲、世界の歌など、ここ数年間で少しずつ練習してきた歌

を披露することができ、感謝の気持ちでいっぱいです。ご来場くださった皆様、ありがとうございました。9月からの新年度では、コーラスを通してさらに活動の場を広げていきますよう、新曲の練習に励んでいるところです。

[f @GreenChorusLondon](https://www.facebook.com/GreenChorusLondon) [@greenchoruslondon](https://www.instagram.com/greenchoruslondon)

※随時団員募集中です。詳細、見学などのお問い合わせ先は、5ページをご覧ください。

日本クラブのイベント&日本人学校写生大会作品

日本クラブ主催の夏の二大バスツアー報告 ナローボート乗船体験&ワイナリー見学



青空のもと、ナローボート体験を楽しんだ参加者たち

今年度の夏に開催された日本クラブ主催のイベントのなかで、特に好評を博したのが2つのバスツアーです。6月26日に開催された「ナローボート乗船体験バスツアー」では、貸し切りバスでストーク・ブルーアーンに移動後、貸し切りのナローボートで英国最長の運河、グランドカナルへとこぎ出しました。好天のなか、国内最長のトンネル内では、鉄の味のする湧き水を試飲したり、力を合わせてロックの開閉に挑戦したり、大人も子どもも楽しい一日を過ごすことができました。

今年度の夏に開催された日本クラブ主催のイベントのなかで、特に好評を博したのが2つのバスツアーです。

6月26日に開催された「ナローボート乗船体験バスツアー」では、貸し切りバスでストーク・ブルーアーンに移動後、貸し切りのナローボートで英国最長の運河、グランドカナルへとこぎ出しました。

9月10日に開催された「ワイナリー見学ツアー」では、イングランド最大のブドウ畑を擁するサリー州のデンビーズ・ワイン・エステート



ワインづくりに関する解説に耳を傾ける一同

トを訪問、さまざまな品種を栽培するブドウ畑を見学しました。雄大な風景と受賞歴のあるスパークリングワインを楽しみ、午後は、醸造所を見学した後、セラーにて解説に耳を傾けながら、3種類ほどのワインをテイasting。参加者はほろ酔い気分で帰りのバスに乗り込みました。

日本クラブでは秋以降にも、さまざまなイベントを企画しています（5ページのカレンダー参照）。ぜひふるってご参加ください。

目指せ、ヤングマスター！日本人学校写生大会の作品から

日本人学校の恒例行事、写生大会から、昨年度校内表彰された優秀作品をご紹介します。今年度の優秀作品は、9月30日、10月1日に開催される文化祭（児童生徒、保護者のみ入場可）にて発表予定です。

「うつくしいつる」（ハンウェルズー）

瀬川 大樹（小2）

苦勞したこと：まっすぐにしっぽの毛がはえているように表すこと。
気に入っている点：くちばしをこくかいたところ。黄色と黒のクレヨンを使い、指でこすってのぼしたところ。



「歴史が詰まるケンジントンパレス」

（ケンジントンパレス）

松岡 龍樹（小4）



苦勞したこと：レンガの色づくり。微妙な色の変化を表すところ。筆を素早く動かして、雲が動く様子をだすところ。
気に入っている点：レンガの色と窓ガラスの反射のところ。

「歴史のあるケンジントンパレス」



渡邊 瑞貴（小5）

苦勞したこと：絵の具で影の部分の色をつくること。
気に入っている点：斜めから見た建物の大きさや形など鉛筆の下描きがよくできました。

「美しくそびえたつアルバートホール」

（ロイヤルアルバートホール）

岸さくら（中3）

苦勞したこと：歴史を感じさせる外観の表現です。全体的に暗めにするなど、工夫を凝らしました。
気に入っている点：空です。青い絵の具に、水を含ませた大きな刷毛を押し当て、リアルな雲を表現しました。



※表示学年は、2021年の写生大会当時のものです。

日本クラブ総会のお知らせ

- ◆ 日 時：12月8日(木) 16:00
- ◆ 開催方法：オンライン (TBC)

※ 今年の総会もたくさんの方が一部屋に集まるのを避けてオンライン形式で行われる予定です。総会の詳細はメールにてお知らせいたします。メールにてお知らせいたします専用サイトにて、ご出欠をご連絡くださいますようお願いいたします。

日本クラブ・ゴルフ同好会

- ◆ 月例会：開催中
- ◆ 会 場：Maidenhead Golf Club
- ◆ 問い合わせ：☎ 07956 551363 (外山健二)
kenjitoyama787@gmail.com
随時入会受付中 (申し込みはHPから)

日本クラブ・ブリッジ会

- ◆ 例 会：毎週木曜日 (11:30am 開始)
- ◆ 会 場：ヤングチェルシー・ブリッジクラブ
(<http://ycbc.co.uk>) 見学者歓迎
- ◆ 問い合わせ：holbourne.sachiko@gmail.com

日本クラブ・グリーンコーラス

- ◆ 練習日：毎週月曜日 (10:15 ~ 12:30)
- ◆ 会 場：Trinity Church, Golders Green
- ◆ 問い合わせ：londongreenchorus@gmail.com

日本クラブ囲碁会

- ◆ 例 会：毎週土曜日 (14:00 ~ 20:00)
- ◆ 会 場：Inn of Court Pub 地下鉄Chancery Lane Exit 3より直進2分
- ◆ 問い合わせ：☎ 07956 594040 (田中)
tanaka@gokichi.org.uk

日本クラブ主催のイベントカレンダー

- ◆ 10月2日 ㊦ クリサンシمامカップ
- ◆ 10月9日 ㊦ ハマースミス日本庭園清掃ボランティア
- ◆ 10月15日 ㊦ シティ散策ツアー 北
- ◆ 10月22日 ㊦ グリニッジ天文台ツアー
- ◆ 11月12日 ㊦ 大英博物館ツアー

クラブサロンのご利用について

日本クラブのクラブサロンはロンドン中心部セント・ポール大聖堂のテムズ川対岸のサザックにあります。ラウンジや会議室、ソフトドリンク等のサービス施設があります。テムズ川南岸のこの地区は再開発が進むエリアで、テートモダン・ギャラリーを始め、数々の店やレストランが並んでいます。地下鉄ジュビリー線のサザック駅から徒歩5分、ロンドン・ブリッジ駅からは10分の便利な場所にあります。



地図はホームページの「日本クラブ ご案内図はこちら」をご参照ください。
www.nipponclub.co.uk

* 会議室の貸し出しをしておりますので、ぜひご利用ください。

● Nippon Club

Ground floor, Europoint Centre

5-11 Lavington Street, Southwark, London SE1 0NZ

* 平日午後6時以降と土曜日は会議室の利用状況により閉館することがあります。

TEL : 020 7921 9490, Email : jimukyoku@nipponclub.co.uk

月曜～金曜：午前10時～午後9時 (事務局は午後6時まで)

土曜：午前10時～午後4時 (事務局は休日)

日曜・祭日は原則休館

ロンドン日本人学校

ロンドンにある特性を生かしつつ、
学習指導要領に準じた教育を
実践しています

- 運動会・文化祭などの行事
- 整った学習環境
- きめ細かな進路指導・進路講演会
- 英会話や英語活動
- 英語検定や漢字検定の実施
- 現地校との交流
- 放課後の楽しい部活動 (5年生以上)
- 通学バス利用可

ロンドン補習授業校

英国の現地校等に通学している
子ども達が、日本の国語の勉強をする
「サタデースクール」です

- 毎週土曜日午前中授業
- 授業回数年間約40回
- 校舎はアクトン、ブレント、クロイドンの3校舎
- 小学部・中学部・高等部 (学習指導要領に準じたカリキュラム)
- 日本語科



入学・転入学随時受付 TEL : 020 8993 7145

会員の皆様へ年会費のお知らせ

日本クラブは、2022年10月より新年度に入ります。個人会員には10月初めに新年度年会費請求書をお送りしますので、銀行送金 (インボイス番号入力必須)、またはデビットカード/クレジットカード (Amexは除く、電話受付可) にてお支払いください。銀行送金・カードでのお支払いが難しい場合は、小切手でも受け付けます。

法人会員正会員の方々には、10月初旬に法人会社ごとにまとめてご請求書を発行します。

- ★ 新年度の更新を希望しない方は、退会届をご提出下さい。
- ★ ご住所を変更された方は、住所変更届をご提出ください。

2023年度会費 (2022年10月～2023年9月)

| 会員種別 | 会員区分 | 入会単位 | 年会費 |
|------|---------|------|-------|
| 法人会員 | 正会員 | 家族 | £ 145 |
| | 駐在員 | 家族 | £ 145 |
| 個人会員 | 一般 | 家族 | £ 45 |
| | 永住者 | 家族 | £ 25 |
| | 同上60歳以上 | 家族 | £ 15 |
| | 学生 | 個人 | £ 30 |

- ★ ご質問・ご不明点がある方は、下記事務局までご連絡ください。
Email : m.konotsune@nipponclub.co.uk
TEL : 020 7921 9490 担当：此常 (このつね)